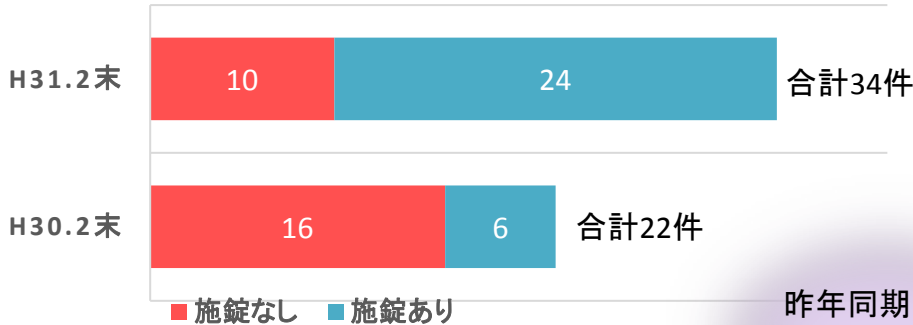


車上ねらいに気をつけて！



平成31年が始まって2ヶ月が過ぎました。
現在、昨年を上回る勢いで発生しているのが「車上ねらい」です。
車上ねらいの発生状況と対策についてご紹介します。

1 車上ねらいの発生状況(大分県内)



平成31年2月末現在
34件の車上ねらい被害が発生しています。

昨年同期と比べると
12件増加！

2 車上ねらいの傾向と対策

(1) 傾向

今年発生した車上ねらい被害のうち...

- ・約7割が鍵をかけていたのに被害に遭っています。
- ・発生場所の約7割が自宅や自宅マンションの駐車場に駐車中の被害です。

(2) 対策

☆車を離れる時は必ず鍵をかける

→鍵をかけることは基本です。ちょっとしたでも車を離れる時は、必ず鍵をかけましょう。

☆車の中に貴重品(バッグ等)を置かない

→貴重品が車の外から見えていれば、泥棒は窓ガラスを割ってでも盗もうと考えます。
座席の上には、貴重品でなくてもバッグなどを置かないようにしましょう。

☆車に盗難防止装置をつける

→車の窓を壊す際の衝撃で警告音や光を発し、泥棒を威嚇する装置も市販されています。

☆駐車場の防犯環境を充実させる

→自宅の駐車場だから安全だという考えは危険です。
センサーライトや防犯カメラを付けて泥棒が盗みにくい環境を整えましょう。



3 最新の手口『リレーアタック』



「リレーアタック」という手口をご存じですか。

これは、特殊な機器でスマートキーの電波を拾い、その機器でスマートキーの電波を車まで中継して、車の鍵を開けてしまうという手口です。

* 対策『スマートキーの電波を遮断する！』

- ・電波遮断ケースに入れる(千円くらいから市販されています。)
- ・アルミホイルで包む

大分県での発生はありませんが、備えておけば安心です。

こども連絡所の活動をご存じですか？

こども連絡所とは・・・

子供達が、登下校時や児童公園等で知らない人から「声かけ・ちかん・つきまとい行為」等の被害を受けた時、安心して避難できる民家・商店・事業所を「こども連絡所」として指定しています。

春休み・新学期を迎える前に「こども連絡所」の活動を確認してみましょう。

子供のSOSはさまざまです・・・！

知らない人に声をかけられた！

知らない人に体を触られた！

ケガをした！ 迷子になった！



もし、子供が駆け込んできたら・・・？

まずは落ち着いて、子供の話を優しく聞いてあげてください。

1 事件の疑いがあるのか、そうでないのかの確認

事件の疑いがあれば、すぐに警察へ通報をお願いします。

* 聞くことチェック *

- 何があったのか
- ケガはないか
- いつのことなのか
- どこであったのか
- 犯人の服装、車があればナンバーなど
- 他に被害はないか
- 児童の名前 など

2 警察官が到着するまでの安全確保(保護)

警察へ通報したあとは、警察官が到着するまで自宅や事業所で保護をしてください。

ケガがあり、救急車が必要な時は119番や、必要に応じて小学校や保護者への連絡もお願いします。

3 事件ではないときは、本人の要望を聞いての対応

事件ではないけれど、子供達だけではどうしても出来ずに困っていることもあるかもしれません。

出来ないことを無理にしてあげる必要はありませんが、例えば「トイレを貸して欲しい」「親に連絡が取れず困っている」等の申し出があれば、トイレや電話を貸す等の対応をお願いします。

話を聞いても、解決できないことがあるときには、子供の保護者や通学している小学校、警察署へ連絡をお願いします。

★小さなお子さんを持つ保護者の方へ★

春休みの機会に、お子さんと一緒に通学路や普段の遊び場所の近くの『こども連絡所』の場所を確認して、緊急時には逃げ込むよう指導をお願いします。